

投稿コーナー

プラッツを利用されている皆さまの投稿コーナーです
皆さまの作品をお待ちしています♪

今月の投稿締切は
15日です。

プラッツ通信 2月

2022年1月25日(火) 発行

第256号

私になりたい画家

売るために絵を描く画家ではない
生きるために絵を描く画家である
あなたは、生きたいのか、それとも、死にたいのか？
それをはっきりさせなくてよい
あなたが今までにしてきたこと
あなたが歩いている道が
あなたが共感できたことが
正直で偽りのない
あなたの心の国である
それは、この世界をうつす鏡である
人は人に許されて
居場所を知る
闘っても、傷ついても
見渡すことの出来る景色がなければ
心の内側に自分の国をもてない
小さき国 自分で生み出して
自分で壊してしまいかねない国
その中に受け入れられている人が健全であるために
絵を描くことで示すのだ



受験生
受け持つ身には
必須であるなり

海
の
雫



桂冠詩人の言葉より
信用こそ最大の宝です
「小さな約束も大切に」
「最後まで誠意を尽くす」
そんな存在になろう！
ペンネーム リンちゃんチのパパ

清く 正しく 美しく
夢中で働く

母の姿
ペンネーム 秋風さやか

(~次回に続く~)

ペンネーム 実月

一月三日、何かに急かされている様だ！

未来への希望をたくして風の糸を緩めるが如く。

その手は震えていて・・・。

緊張と妄想めいた胸の中で。

必ず風は舞う 悠々と 青一色の世界へと 空じゅうをひとりじめして

細く長い糸が僕らの勇気だ。

ちょっぴり不安もある。

誰もしがリスクの上で飛び立とうと勇気をふりしほっているのさ。

僕はみんなと同じさ。やればできる！

さあ風よ、来い！



R4.113.

P.N シーソー

「当たり前」に染まっていく中で

この記事を書いているのが年明けであり、再度、新型コロナの感染者数が増え始めてきた時期にあります。
新型コロナウイルスが蔓延し、早2年が過ぎました。当初言われた「新生活様式」「ニューノーマル」の響きの押し付けに、個人的には馴染めないでいたのですが、時間の経過とは恐ろしいもので、ZOOM等のオンラインを用いての人と繋がる生活が続く中で、何となくそれらの言葉が当たり前になりつつあります。

さて、プラッツではLP(活動)という名でピア活動を行っています。最近「ピア活動」や「当事者活動」という言葉を耳にする機会が増えてきたかと思いますが、これは精神科ユーザーの方の『当事者』目線で生活をより豊かにしていく為の想いや言葉を届けていく活動の事です。プラッツでは特に「退院支援・地域移行支援」に力を入れ、入院している方々が地域生活へと戻る為のお手伝いをしています。

先日、そのLP活動の一つのLP会議を行った際に、とても印象的な場面がありました。

コロナ禍前までは、LPが病院まで出向き入院している方々とLPがひとテーブル4~5名で座り、地域生活への質問や使う福祉サービス等の話をするプログラムをしていたのですが、それをオンライン上でも出来ないか、を医療機関と打ち合わせをし、その振り返りを行った時のことです。

LPから様々な感想を貰い、「コロナ禍とは言え、退院支援の動きを止めない為の取り組みを続けていこう！」という気持ちを共有していた中、「オンラインではあるけど、どうにか入院している方が病院職員のいない所で話す場面を作ることは出来ないだろうか？職員はセティングがあってその場にいないのは難しいかも知れないが、それが出来たら入院している方はオンラインでも伸び伸びと話が出来ると思う。」という発言がありました。

それを聞いた時は「パソコンの設定はやはり病院職員がするから、その場に職員がいなくなるのは難しいだろうな・・・。」と思ったのですが、すぐに「ハッ！」としました。オンラインという場面を作る際には「当たり前」に職員がいることを想定し検討していましたが、確かに「入院している人が話しやすい場面設定」までは、この「当たり前」の状況が先行し、考えが至りませんでした。

こういった「当たり前」のことが増えていき、大切なことを思い出せなくなってしまったり、必要なことに目が行き届かなくなったりする機会が増えてしまうのではないかと、思い、身の引き締まる思いになりました。

「そんなの当たり前じゃないか」という日常に染まらないためにも、今までの生活の中で大切にしていたことを思い出し、それがこれからの生活の中でも実現できるように、皆さんの声に耳を傾けていきたいと思いません。

地域生活支援センタープラッツ 毛塚和英

社会福祉法人はらからの家福祉会

地域生活支援センタープラッツ

《開館日》	月・火・木・金・土・第1・3日曜日
《住所》	国分寺市南町3-4-4
《相談TEL》	042-359-2440
《HP》	http://harakaranoie.com
《休館日》	水・第2・4・5日曜日・祝日
《開館時間》	10時~19時(午後7時)
《来所・電話相談》	10時~19時(午後7時)

地域生活支援センタープラッツ

2022年  【月間予定表】



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	休館日	10	11	12
野田先生 PC塾		お茶会	休館日		建国記念日 	
13	14	15	16	17	18	19
休館日	プラッツ通信 投稿×切日		休館日	Platz Entertainment		
20	21	22	23	24	25	26
		お茶会	天皇誕生日 		ミュージック アワー	
27	28					
休館日						

《職員の一言》

昨年より天皇誕生日が2月になった為、祝日が2日間になりました。カレンダーを確認してみると、今年（2022年）は月曜日や金曜日が祝日・休日となる日は実に8日あります。他にも平日が祝日・休日になる日が4日あります。予定をたてる時には十分に気を付けたいと思いました。



《2月のプログラム》

※すべて事前申し込みが必要となりますのでご注意ください。

〈お茶会〉

- ◆日程：2月 8日(火) 14時から 15時
2月22日(火) 14時から 15時
- ◆持ち物：必要な方は飲み物
(※お茶菓子はありませぬ。)

〈Platz Entertainment〉

- ◆日程：2月 17日(木) 14時から
- ◆持ち物：必要な方は飲み物
(※お茶菓子はありませぬ。)

〈PC塾(野田先生)〉 ※オンライン

- ◆日程：2月6日(日) ☆1回 30分×5枠
13:20～、14:00～、14:40～、
15:20～、16:00～
- ◆持ち物：必要な方はUSBメモリ
- ※個別プログラムの為、登録者のみ参加できます。

〈ミュージックアワー〉

- ◆日程：2月 25日(金) 16時から 17時
- ◆持ち物：CD、カセット、レコード、
MP3プレーヤー等
- ※鑑賞のみの参加もOKです。

〈プログラムの申込について〉

- ◆申込：相談電話・来所の際に、職員へ参加したい旨をお伝えください。
- ◆定員：5名(申込者多数の場合は調整させていただきます。あらかじめご了承ください。)
- ◆締切：各プログラム直前開館日の12時まで。参加希望者が定員以上の申し込みであった場合のみ、申込締切日に職員よりご連絡致します。

※定例プログラムは再開時に紙面へ掲載致します。

《プログラム開催に関するお知らせ》

- ・マスクの着用をお願い致します。
- ・感染状況を踏まえ、プログラムを中止とさせていただきます場合があります。
- ・ご予約頂いた方も、当日体調不良の場合は参加をご遠慮ください。
- ・滞在時間制限の120分に、プログラム参加時間も含まれます。
- ・プログラム開催時も交流室利用人数は5名です。プログラム中は、参加者の利用を優先とさせていただきます。
- ・お飲み物をご持参ください。

感染拡大防止のため、ご協力のほどよろしくお願い致します。

《初詣に行ってきました》

コロナウイルスが蔓延するようになってからプログラムを縮小して行っていますが、年始の催しとして2年振りに初詣を1月20日(木)に行きました。

当日は、天候にも恵まれて、プラッツから武蔵国分寺公園を抜けて恋ヶ窪熊野神社まで歩いて各々参拝しました。帰りは日立製作所の北側を散策しました。参加者からは「散歩のプログラムもあれば良いな」と話がありました。



《Platz Entertainment お知らせ》

プラッツ交流室にて、『12人の優しい日本人』を上映します。

- ◆日時：2月 17日(木) 14時から(要予約)
- ◆あらすじ：三谷幸喜が主宰する東京サンシャインボーイズのヒット舞台劇を映画化したコメディ。陪審員制度を題材にした名作「十二人の怒れる男」をモチーフに、もしも日本に陪審員制度があったら、という架空の設定のもとに陪審員として集められた人々の姿をコミカルに描く。ある殺人事件の裁判のためごく一般の市民12人が集められた。被告が若くて美しいことから議論は概ね無罪で決まりかけたとき、ひとりがそれに異を唱えたことから議論は白熱紛糾し……。
- ◆上映時間は約116分

《12月 Platz Entertainment 報告》

プラッツ交流室にて、映画『シザーハンズ』を上映しました。

前半はコミカルな場面も多く、笑いが起こることが度々ありました。参加した方からは「思っていた作品と違ったけど観ることが出来て良かった。深い内容の話だった」とコメントを頂いています。

《カレンダーの寄付を頂きました》

理事の山田様よりのカレンダーを頂きました。昨年末からメンバーさんより「カレンダーありますか?」「例年頂いているカレンダーは今年もありますか?」と問い合わせを頂いていました。昨今の状況を考えると確保は大変だったと思います。ありがとうございました。

